

# 自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号  
U R L http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251  
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2006 2.10  
No. 915

発行責任者 梅野敏基 定価 10円  
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

# 地域からバツクアップされる病院に

昨年8月4日に「公立尾陽病院を良くし、小児科入院業務と産科の存続を求める会」代表・犬塚正男(略称:良くする会)が発足。住民署名や病院長・管理者(基目寺町長)らとの懇談会を持つなど積極的な運動の中でいくつかの前進をあげています。

## 産科の存続求め良くする会が管理者、病院長と懇談会

8月17日に、良くする会は、管理者野村武・基目寺町長、市川健次・病院長と懇談を実現。市川病院長は、「小児科の医師確保は努力してきたが医師の不足により困難である。現在は病院の将来計画を各町長と話し合っている」と答えました。その内容は、「将来計画を



巡回バスが病院利用者の足となっています



待合ホール、内科外来横にバス運行表が掲示

検討する重点は、①安定した経営②職員を守らなければならぬ③どういふ病院が地域(住民)に貢献できるかということである」とし、「住民の思いと同じである。公立である以上地域からバツクアップしてもらえたい」と表明しました。

しかし、現在は医師確保

## 本格的な住民との共同 広げる06春闘方針確立

### 第96回臨時大会



あいさつで羽根原本部委員長は、「今年の06春闘は給与構造見直しなど賃金確定後半のたたかいは組合員の団結を強め、「小さな政府」の本質を明らかにして公務労働者の要求と国民共同のとりくみを地域へ出たたたかうことが重要」と強

巡回バスの運行コースの掲示を実現、健康講座などの実施に前向きな回答が

12月26日、地域医療の充実を求める要望書(6項目)をもとに、安心してかかれる医療機関として公立尾陽病院の改善を求めて懇談しました。要望項目の一つ、「巡回バスのルート・時間を地域住民が利用しやすく改善すること」について、「巡回バスは2台で6コースを運行していますが、運行回数の増等は難しい状況であります。巡回バスの運行コースを病院待合ホール等に掲示をして周知をするよう準備をすすめています」と前向きな回答をしました。その後病院内に写真の

ように掲示されています。「地域住民の健康保持・疾病予防のために、健康講座などへの協力について」の要望に、「出来る限りの要請に応えるよう努力いたします」と回答されました。懇談を通じて、野村基目寺町長は「病院の存続について努力しており、ここに病院がある以上住民のためになんとかやっています」と表明しています。良くする会は、住民向けの二コースを発行し、より多くの住民に尾陽病院への関心を高める取り組みを計画しています。

自治労連愛知県本部は、1月22日名古屋市内で第96回臨時大会を開催。代議員・中央委員合わせて142人が参加し、「小さな政府」「官から民」などによる公務員の総人件費削減と正面から対決し、本格的な国民との共同を推し進める06春闘方針を決定しました。

調しました。また、「大企業の大もつけの一方で、働く労働者の年収が下がり、雇用不安を持つ若者が増え、臨時・パート・派遣など非正規労働者の組織化は急務」と指摘しました。「憲法を守る先頭に立ち、大増税反対、医療制度改善反対など悪政が続くなかでも意気高々たたかおう」と力強くあいさつしました。

続いて長坂書記長は、賃上げの根拠は大企業の内部留保をみれば明らかであり、憲法改悪・9条改悪は日本の国を変えるものにならざる。確信をもって運動を広げよう」と強調して06春闘方針を提案しました。討論では、20単組30人の代議員・中央委員が発言しました。直面する「給与構造見直し」で単組・地区協・ブロックでの決起集会によ

討論のまとめで長坂書記長は、「安心して意欲をもって働くことのできる職場をめざし、確定後半のたたかいに臨もう。共同する取り組みが発展していることが発言で裏付けられた。憲法を守る取り組みを引き続き強めていこう。小泉『構造改革』路線では国民生活は守れないことも明らかにしている」と強調。最後に本格的な住民との共同行動を推し進める06春闘にしよう」と訴えました。

# 愛知に1300人が集う 明日の保育運動切り拓く

## 第14回自治体保育労働者の全国集会



「名古屋でGO2」を踊る「おどり隊」のみなさん

1月28日、29日「第14回自治体保育労働者の全国集会」が愛知で開催されました。今回の集会は、公立保育所運営費が一般財源化され、その結果全国の自治体では保育水準の低下や統廃合・民営化が急速に進められるなど深刻な影響が出る中、全国の運動と実践を

学び合う目的で開催され2日間でのべ1300人が参加しました。オープニングは愛知の80人を超える保育士が笑顔と元気をふりまいて「エネルギー」の総踊りを披露。どまんなか祭りから生まれた踊りで参加者を元気に歓迎しました。記念講演

はならない。平和愛好国の水準にとどまらず、日本の努力で世界を平和にするという初心を忘れてはならない」と呼びかけました。特別報告では、名古屋市長から公立保育園の廃園問題をめぐって民間保育園の仲間と一緒に取り組んでいることが報告されました。

2日目の基礎講座・分科会は10会場にわかれ、民営化問題の分科会は3分散会にするほどで、予定の人数を超える参加者が集まりました。秋葉英則先生の基礎講座は会場に360人がつめかけ、保育の質と専門性を高めるために真理を見つめ、偽物を見抜く力を養うことが強調されました。

2日間の集会を通じ、各地の運動の教訓を学び合い、明日からの運動の展望を見いだすものとなりました。来年の全国集会は横浜で開かれることになっていきます。

に立つた三上満氏は、「今、日本は別道にいます。ルールもモラルもない社会。乗り物、住まい、命までも危険な社会。究極のルールである九条に攻撃がかけられている。私たちは、明日という信頼、希望を捨てて

の重点課題とし、運動の進め方やマスコミ・自治体・関係団体の反応を変化させた運動の成果などを分かりやすく話されました。2つめの講演は東京聖路加病院看護士の佐竹いく子さんが「成果主義は小さく産まれても巨大化する悪魔の子」と題し、成果主義が導入された職場の実態を話されました。

## 西三地区協 春闘学習会に 71名参加



西三地区協は、2月4日(土)午後3時から碧南市の衣浦港湾会館で恒例の春闘学習会を開催しました。今年度は、東三地区協や結成されたばかりの全トヨタ労組からも参加があり、全体で71名の参加となりました。第1部は、笑工房の木藤なおゆきさんの憲法漫談『地球のすみずみに憲法の花を』が行われました。木藤さんは、「平和憲法がなくなり、戦争が起きると男女雇用機会均等法により女性も戦場へ送られる。主力は、あつかま

しい大阪のおばちゃんだが、重要な任務は、任せられない。なぜなら、おしゃべりだからみんなしゃべってしまい、秘密がばれてしまつから」等、笑いの中に平和憲法の大切さを公演されました。第2部は、弁護士の竹内平さんから国民保護法についての講義がありました。最後は、公務災害認定を闘っている自治体一般労組の倉田利奈さんから経過報告と引き続きの支援要請が行われ、午後5時30分に終了しました。その後、懇親会を開催し、交流を行いました。

笑工房の木藤なおゆきさん  
笑いの中に憲法の大切さを実感



## ILOも、日本政府に強く要請していく

### 全労連ILO調査団②

名古屋市長 奥村敏男  
会計 奥村敏男

ILO理事会のピオンディさんは、「日本国内でILO勧告の内容をもっと宣伝し、市民世論を広めることが必要です」とアドバイス。

その後、ILO結社の自由部責任者・労働基準局副局長のカレン・カーチスさんと面会し、「追加情報」の内容を伝え、2度にわたるILO勧告を無視している日本政府にただちに履行するよう対応を要請しました。カーチス副局長は、「05年11月に審議できるように日本政府に対して政府見解を提出するよう要請したが、いまだに提出されていない。ILOとして06年3月に審議できる

よつ日本政府に強く要請している。また、「今回の追加情報の中身を見ても不当なものである。日本政府がどのような答弁をしてくるかが楽しみだ。」さらに、「いただいた追加情報は大変重要な文書だと受け止めている。このほかにも新しい展開があればどんなことでも早急に情報提供をしてほしい」との助言を受けました。



よつ日本政府に強く要請している。また、「今回の追加情報の中身を見ても不当なものである。日本政府がどのような答弁をしてくるかが楽しみだ。」さらに、「いただいた追加情報は大変重要な文書だと受け止めている。このほかにも新しい展開があればどんなことでも早急に情報提供をしてほしい」との助言を受けました。

## 県本部2006年組織集会

日時 2月25日(土)午後2時~26日(日)正午まで  
場所 グリーンホテル三ヶ根  
記念講演 「元気に職場活動で労働組合を強く、大きく」(仮)自治労連千葉県本部君津市職労 竹内敏昭書記長  
実践報告①青年・新規職員が元気に組合に参加②自治体合併を通じて組織強化拡大③自治労連共済で財政強化④臨職・パート、関連職場を仲間に⑤住民要求と職場要求を重ね合わせて⑥共済活動と組織強化  
「職場活動の活性化にむけて」などの分科会が2日目に行われます。

## 医療部会・看護師集会

県本部医療部会は2月4日、豊橋市民病院講堂にて「看護師集会」を開催し、9単組から99人が参加しました。集会では、医療部会看護対策部会長の松井さんが挨拶をしたあと、日本医療連の小松民子さんが「看護師労働実態調査報告」と題し講演を行いました。看護師の大幅増員は産別最大

## 職場の声

初めて送ります。毎日笑いのたえない？職場で楽しいです。今年も良い年にしたいです(山下美紀・春日井市職労) 給食も保育の一環として、私たちも低年齢やアレルギー食の対応に頑張っています。でも、来年度も3カ園委託が入り、22園あった職場も16園となります。元気で自信をもっておいしい給食と職場を守っていきたく思います(山田静子・瀬戸市職労) 私は交通指導員をしています。他の人にもすすめて

組合員を増やしたいです。これからも私たちのため、いえ自分たちのよりよい生活向上のためお互いがんばりましょう(大谷ゆかり・田原市職労) 学校のピオトープにカワセミが毎日飛んできます。美しいブルーの鮮やかさに気持ちも透明になるようです(小林鈴江・西尾市職労) 写真を撮って送ってくださいね(編集部) 現在なかなか有休がとれないのが現状であり、せめて月1回程度で有休があつたらと切に思っております。今年は大年で、いい年になればと願っております。新年号にあつた京

都の舞妓さん、いいですね。ぜひ私も体験したいものです(野呂純子・半田市職労) 今年は寒さが厳しく、健康管理には気をつけています。職場でもうがいはしっかりおこなっていますよ。クロスワードパズルは頭にもとてもいいですね(黒田博子・蒲郡市職労) 「ホリエモンがタイホ」のニユースが今テレビで流れていますが、カネさえあれば何でもOKの世の中ではなく、まじめにコツコツ働く人々が報われ尊敬される世の中こそ新しい日本のめざす道であってほしいものです(森加代子・名古屋市職労)